

将来の働き方・生き方を考えよう（学級活動）

所要時間 50分～60分

対象 中学生

ねらい

○女性の労働をめぐる問題について考え、自分の進路を真剣に考える態度を育てる。

準備

- ・ワークシート
- ・DVD「ワーク・ライフ・バランスをしていますか？」（内閣府男女共同参画局）

進め方

導入

展開

振り返り

活動の流れ（指導者の教示、子どもの反応・行動）	留意点
1 「自分の将来について考えてみよう。」 ・5年後、どうしていきたいか？ ・10年後、どうしていきたいか？ ・15年後、どうしていきたいか？ 2 15年後を想定して、今日の学習を進めることを確認する。	○どんな働き方や生き方をしていきたいか具体的に考えさせる。
3 「日本の女性の働き方について考えてみよう。」 ○年齢階級別労働力のグラフを見て、考え合う。 ・日本の女性の働き方のグラフが、「M字型曲線」を描いていることを知り、その理由について考える。 ・日本の女性が結婚して働ける条件が整っていないことや、出産・育児をしながら働くことへの理解がすすんでいないことを確認する。 ・グラフが台形に近づくためには、男性の参画が必要であることを気づかせる。 4 DVD「ワーク・ライフ・バランスをしていますか？」視聴。（27分間） ○ワーク・ライフ・バランスが実現された社会に近づくためにどのような取組が必要か考える。 ・仕事は、生活を支え、生き甲斐や喜びを与えるが、家事・育児・地域への貢献なども生活を充実させてくれることに気づかせる。	○「男女共同参画」の説明をする。 ○「ワーク・ライフ・バランス」の説明をする。 ○DVDの代わりに、資料「ながのイクメン手帳」を教材にする方法も考えられる。
5 「今日の学習で、新たに分かったこと、感じたことをまとめましょう。」 ○男女の働き方、生き方のあるべき姿や、将来の自分の働き方・生き方に、今までより具体的なイメージを持つことができる。	

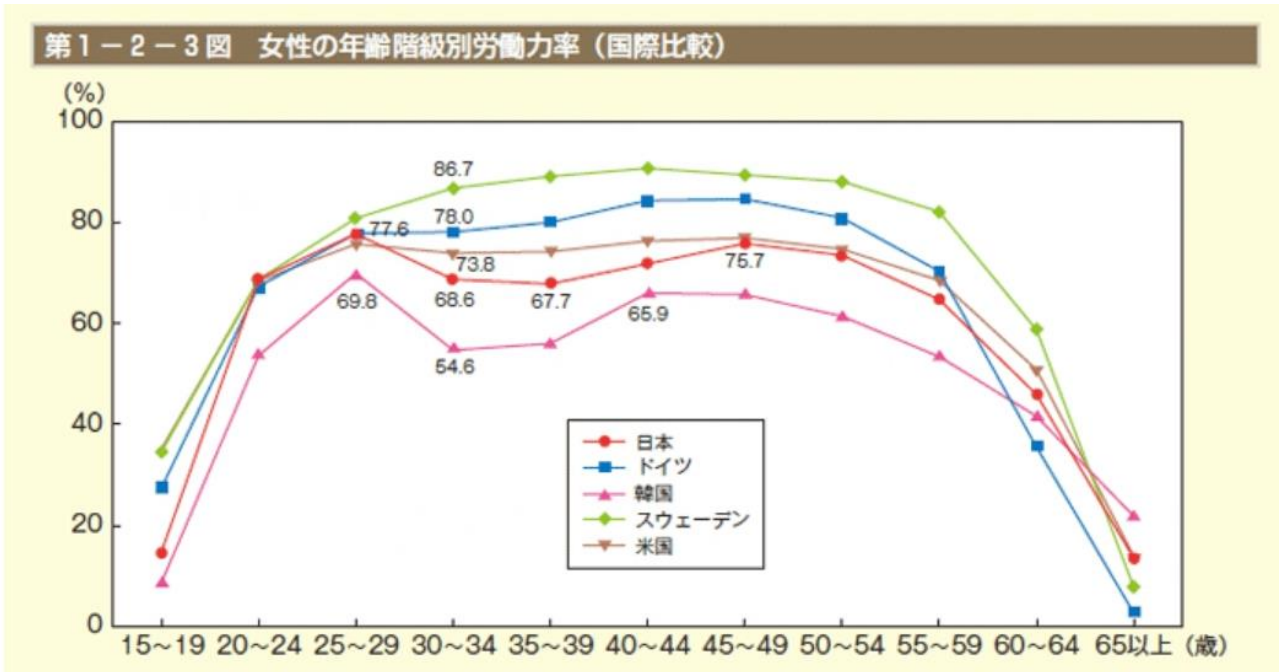
留意点等

- 生徒の家庭状況や、家庭の在り方に対する考えが様々に存在することに配慮し、生徒それぞれの考えを否定せずに意見が出し合えるようにする。
- DVD「ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？」（内閣府男女共同参画局）は、長野県男女共同参画センターあいとびあで貸し出している。
- 「ながのイクメン手帳」（長野県作成）やそのコピーを読み合わせる学習も考えられる。

○女性の年齢別階級別労働力率の国際比較のグラフです。

・折れ線グラフに色をぬると見やすくなります。

(日本…赤 ドイツ…青 スウェーデン…緑 韓国…ピンク 米国…茶色)



(平成25年度 内閣府「男女共同参画白書」)

○このグラフを見て、気づいたことを書きましょう。

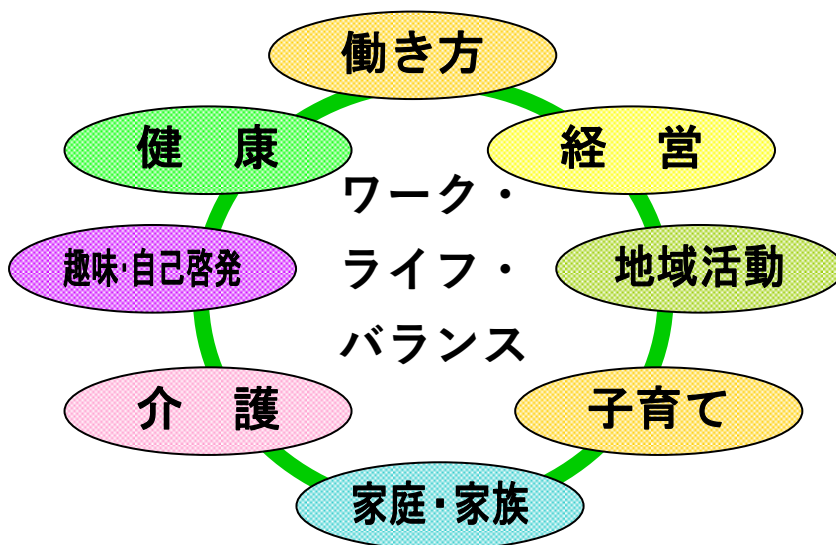


男女共同参画社会とは？

性別に関わりなく「自分らしく」生きるために、社会のあらゆる場面で、多様な選択の機会が確保でき、また男女が「共に」責任を担っていく社会です。

○DVD「ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？」の感想を書きましょう。

○ワーク・ライフ・バランスが実現された社会に近づくためには、どのような取組が必要だと思いますか。



ワーク・ライフ・バランスとは？

誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態です。

